

| 学習目標 | |
|---|--|
| (1)進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 | |
| (2)基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 | |
| (3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。 | |

| 月 | 単元・題材名 | 学習内容 |
|----|--|--|
| 4 | ○にっぽんのうた みんなのうた ・さくら さくら ・さくら変そう曲 | ・情景を想像し、気持ちを込めて表現する。 ・歌い継がれてきた日本の歌に親しむ。 ・箏の音色に親しむ。 |
| 5 | ○ひびけ歌声 ・プパポ ・「サウンド オブ ミュージック」から | ・各パートの旋律の動きを捉え、聴き合いながら、響きのある伸びやかな声で歌う。 ・いろいろな歌声やその表現を味わい、ミュージカルの音楽を楽しむ。 |
| 6 | ○ひょうしとせんりつ ・エーデルワイス ・トルコ行進曲 ・ラバースコンチェルト ・メヌエット ・まきばの朝 | ・拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして演奏する。 ・行進曲のリズムや、2拍子の流れを感じ取って聴く。 ・拍子の違いを感じ取り、拍の流れにのって歌ったり聴いたりする。 |
| 7 | ○せんりつと音色 ・ゆかいに歩けば ・とんび | ・歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現する。 ・曲想を捉え、旋律の感じに合った声や歌い方を工夫する。 ・旋律の流れやフレーズを意識し、それぞれの曲の特徴やよさを生かして表現する。 |
| 9 | ○アンサンブルの楽しさ 「水上の音楽」から ・アラ ホーンパイプ | ・アンサンブルの音楽に親しみ、楽曲の構造や特徴を理解する。 ・各声部の役割を生かし、聴き合いながら演奏することにより、楽曲への理解を深め、アンサンブルの音楽を味わう。 |
| 10 | ○お祭りや民謡めぐり ・ソーランぶし | ・わが国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。 |
| 11 | ・にほんのお祭りの音楽 ・もみじ | ・いろいろな国の音楽に親しみ、リズムや楽器の特徴を感じ取る。 ・歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現する。 |
| 12 | ・サンバの音楽 ○えんそうのつぼ | ・旋律の重なりや声の響き合いを感じ取って合唱する。 ・楽器やパートを選んで、楽曲に合った演奏を工夫する。 |
| 1 | ・ラ クンパルシータ | |
| 2 | ○音楽のききどころ ・ノルウェー舞曲 第2番 | ・音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽曲の構造をつかみ、全体を味わって聴く。 |
| 3 | ○みんなの音楽パーティ ・こきょうの春 ・グッデーグッバイ ・君が代 | ・互いの声や音を聴き合い、音の重なりを楽しみ、友達と表現の工夫をしながらアンサンブルを楽しむ。 |

| 評価の観点 | |
|--|--|
| 【音楽への関心・意欲・態度】 進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。 | |
| 【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。 | |
| 【音楽表現の技能】 音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。 | |
| 【鑑賞の能力】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。 | |

| 評価の方法 | |
|-------|-----------------------------------|
| テスト | 表現活動の様子 ワークシート 発表 課題への取り組み状況 演奏実技 |